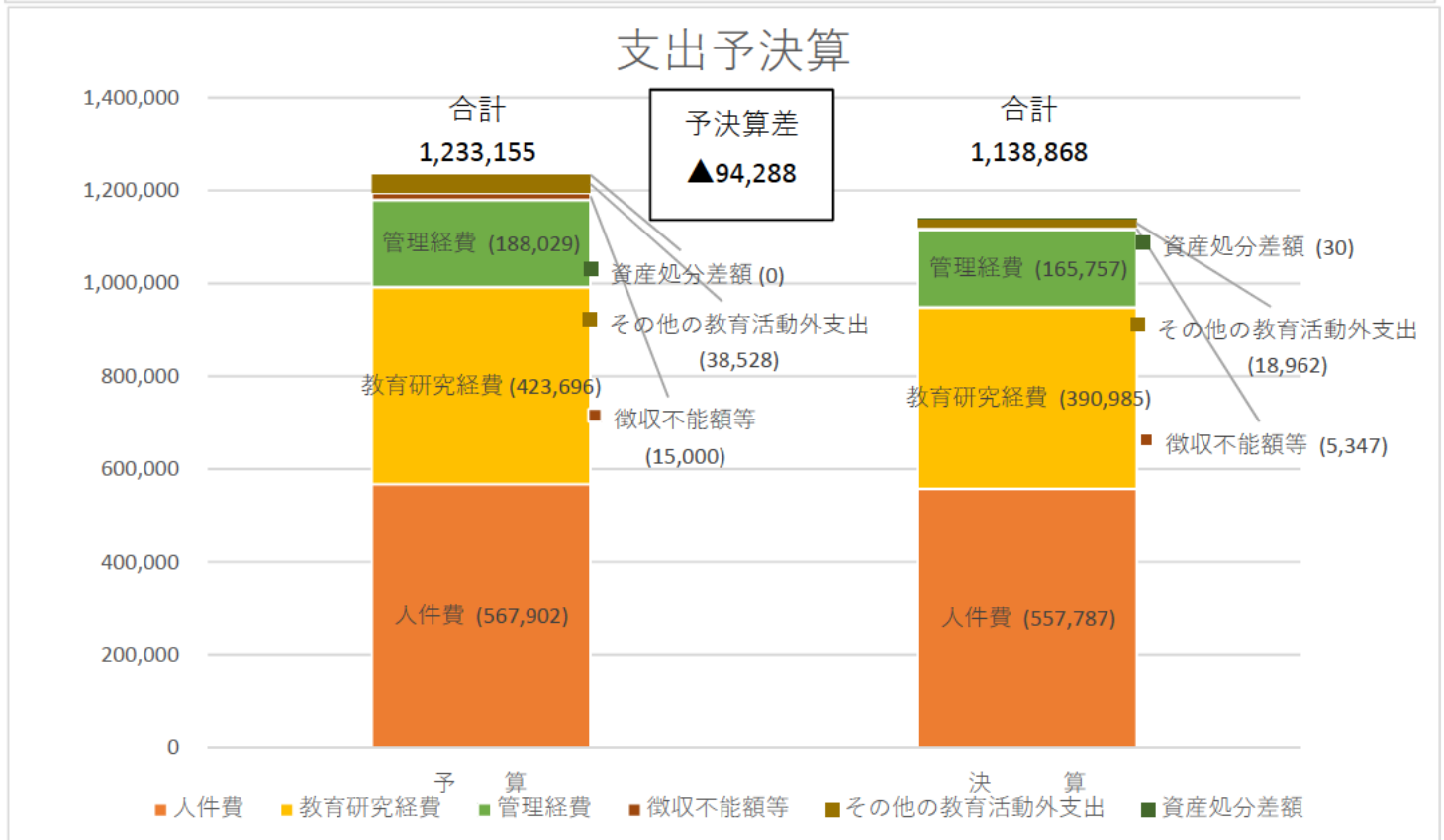
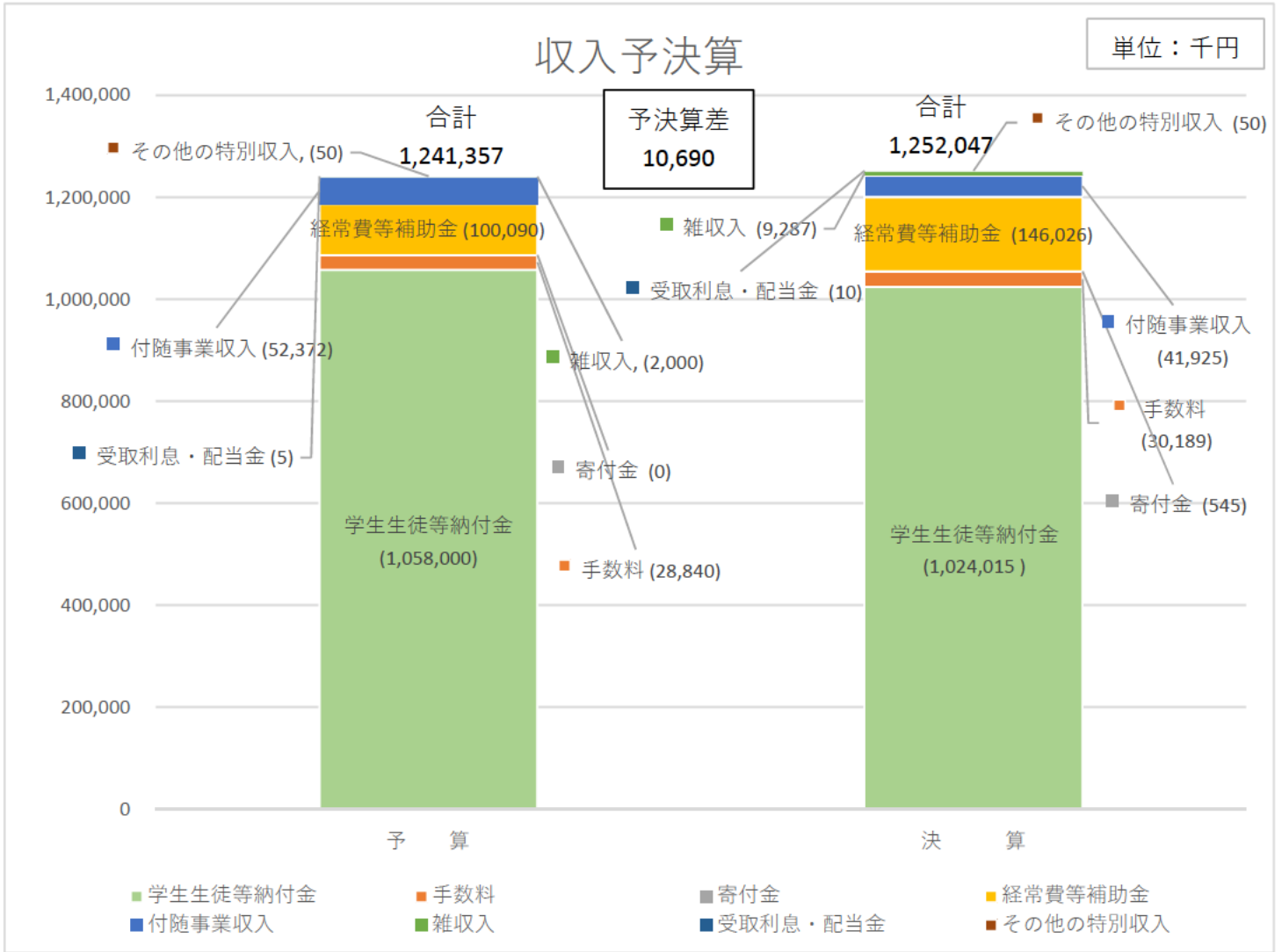


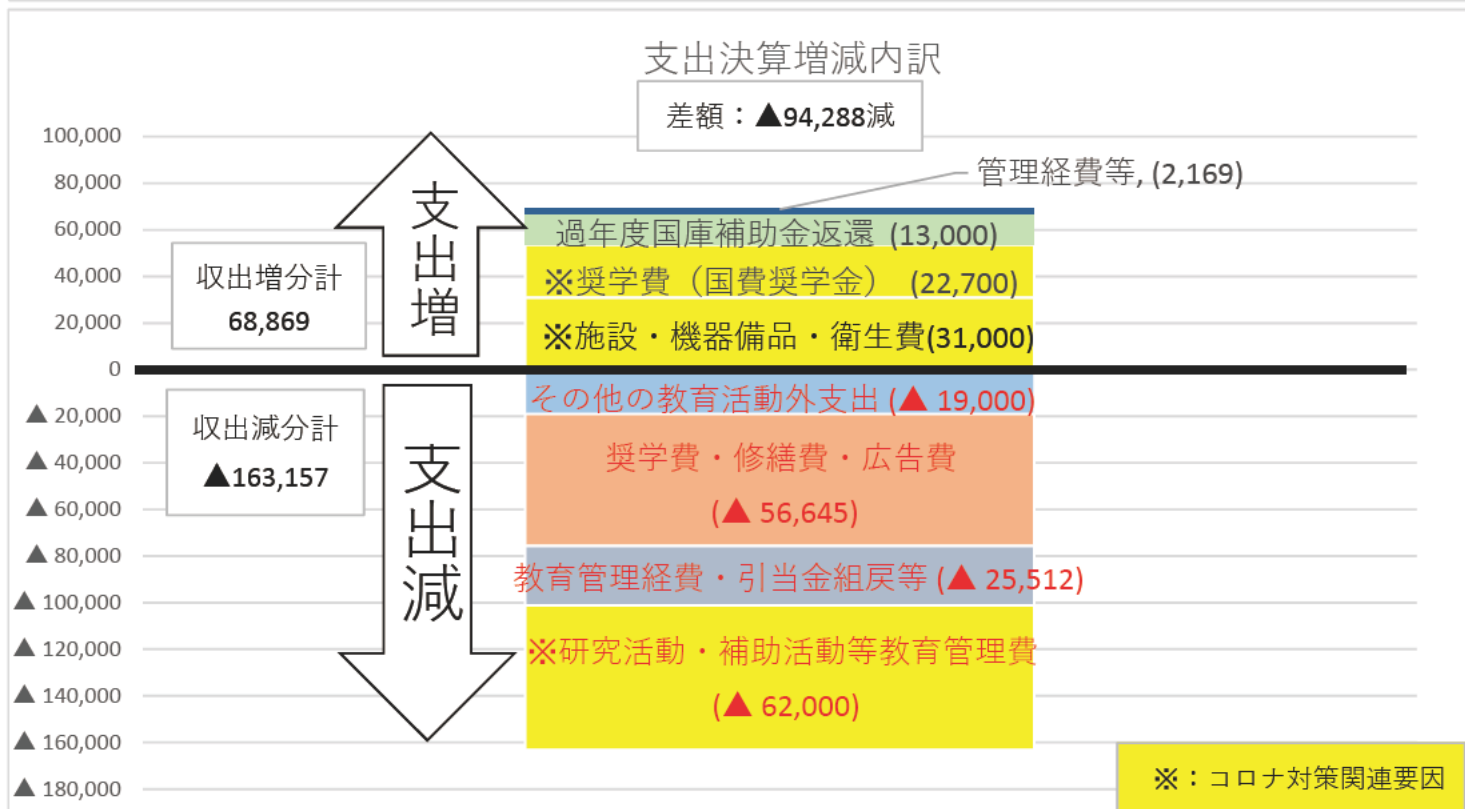
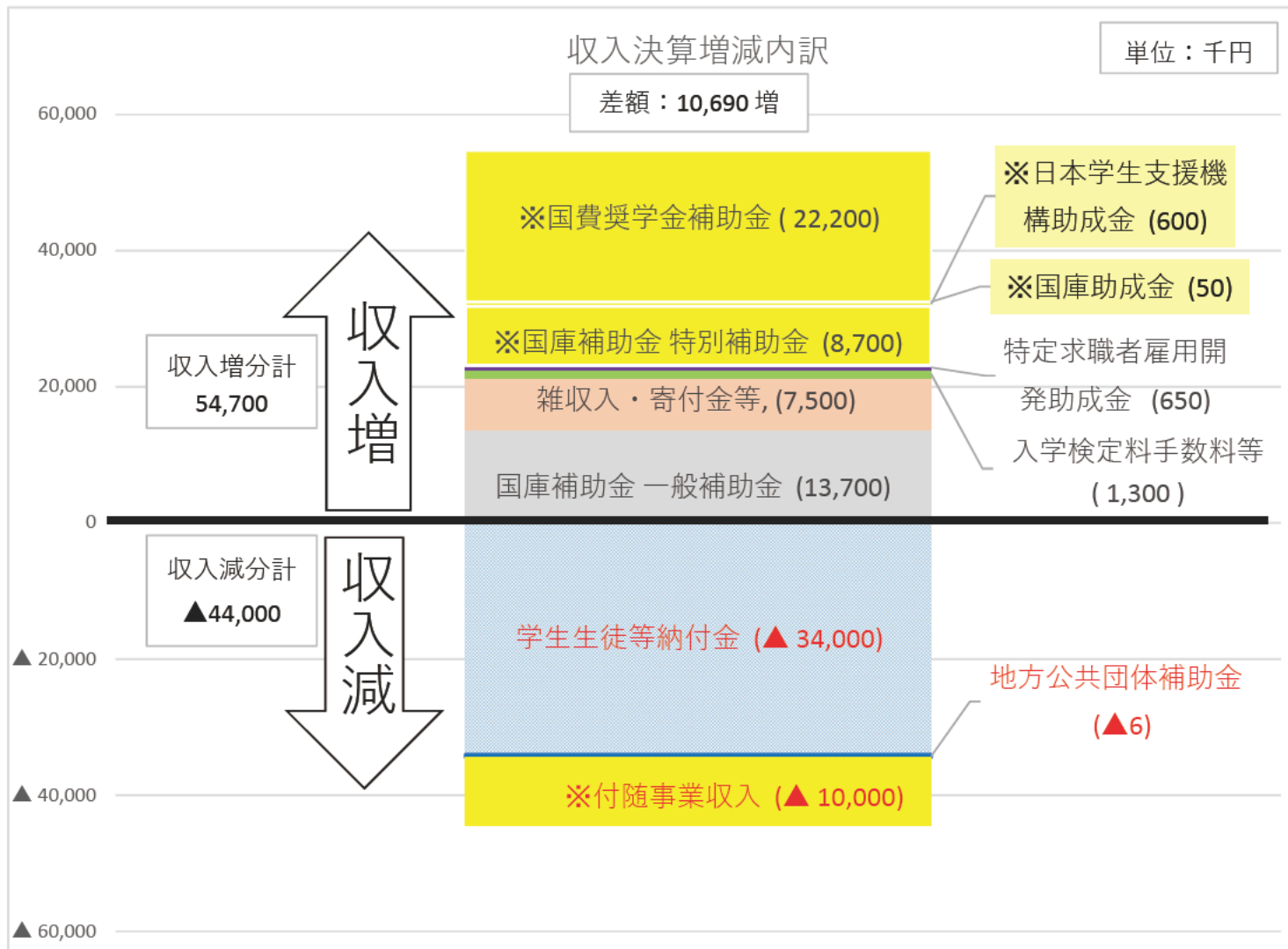
令和2年度 事業活動収支計算書概要

(1)【事業活動収支予決算】



令和2年度 事業活動収支計算書概要

(2)【事業活動収入・支出増減内訳】



令和2年度 事業活動収支計算書概要

(3) 【事業活動収支決算増減評価】

2020年度は、新型コロナウイルスの拡大、緊急事態宣言等の影響により、経常収支差額は113百万円、対予算、約105百万円の増益となった。

主な要因として、

収入については、学生生徒等納付金が、退学者、除籍者の増加により、予算を下回り34百万円の減収となった。付随事業収入についても施設貸出の大幅減少および登校学生の大幅減少の影響で10百万円の減収となったが、受験者および入学者の増加に伴う手数料収入および経常経費補助金（新型コロナ対策特別補助金含む）等56百万円の増収となり、教育活動収入は、10百万円の増収となった。

但し、高等教育支援制度開始に伴い経常費等補助金の増加分は、補助金と同額の奨学費（教育研究経費）が発生した。

支出については、奨学費、修繕費、広告費の縮減57百万円、研究活動、補助活動、減少、オンライン授業による登校学生数の大幅減により、教育管理経費等62百万円の減少となったが、奨学費（国庫奨学金）および新型コロナウイルス感染症対策費、オンライン授業を行うための教育機器整備費用31百万円、過年度国庫補助金返還金13百万円の増加となったが、教育活動外収支について、19百万円の支出減となり、事業活動支出は94百万円の支出減となった。

(4) 【2020年度設備投資】

2020年度の設備投資は以下のとおり実施した。

①五号館屋上防水工事	13.0百万円
②プリズムホールの空調機更新（AC3）	4.7百万円
③五号館地下501・502教室の換気改善工事	3.7百万円

（コロナ対策補助金受給申請済）

(5) 【翌年度繰越収支差額】

翌年度繰越収支差額は、当年度収支差額113百万円および設備償却による基本金取崩額29百万円の加算で、累積収支差額を134百万円圧縮し△4,701百万円となった。次年度以降も黒字決算の継続、基本金組入、累積収支差額（赤字）の圧縮を図り、本学の財務体質改善を加速させる。